

国民健康保険システム標準化検討会

第2回検討会 議事概要

【日時】 令和4年3月28日（月） 13:30～15:00

【場所】 オンライン会議

【出席者（敬称略）】

（座長）

後藤 省二 株式会社地域情報化研究所 代表取締役社長

（構成員）

菅原 祐二 北海道保健福祉部健康安全局国保医療課 主査

水谷 修 仙台市健康福祉局保険年金課長

野沢 努 宇都宮市保健福祉部保険年金課長

市川 雄太 船橋市健康福祉局健康・高齢部国保年金課 主事

伊藤 廣昭 中野区区民部保険医療課長

東 利郎 都城市健康部保険年金課長

日名子 大輔 株式会社 RKKCS 企画開発本部企画開発部 部長

渡邊 毅 株式会社 TKC 国民健康保険システム技術部 技術部長

小林 大士 株式会社電算 ソリューション2部 主任

石田 淳一 株式会社両備システムズ 公共ソリューションカンパニー
国保ビジネス推進部 課長

城戸 浩二 行政システム九州株式会社 ソリューションビジネス推進部 部長

岩田 孝一 日本電気株式会社 公共システム開発本部 部長

広田 和治 日本電子計算株式会社 公共事業部事業企画部 企画担当

大村 周久 富士通 Japan 株式会社 住民情報ソリューション事業部
第一ソリューション部 部長

（オブザーバー）

丸尾 豊 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム
基盤チーム 統括官付参事官付参事官補佐

伊藤 豪一 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム
基盤チーム プロジェクトマネージャー

前田 みゆき デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム
基盤チーム プロジェクトマネージャー

羽田 翔 総務省自治行政局デジタル基盤推進室 理事官

森田 博通 厚生労働省保険局国民健康保険課長

寺本 勝敏 厚生労働省保険局国民健康保険課 国民健康保険保険者

	システム調整専門官	
藤原 翔馬	厚生労働省保険局国民健康保険課企画法令係	
佐藤 成也	厚生労働省保険局国民健康保険課	
島添 悟亨	厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室	室長補佐
巢瀬 博臣	厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室	室長補佐

【次第】

1. 開会
2. 検討会（第2回）の進め方について
3. 国民健康保険システム標準仕様書公開に向けた対応について
4. 検討・課題一覧
5. 質疑応答
6. 今後の進め方の決定
7. 今後の予定について

【配布資料】

- 00_次第_検討会（第2回）_国民健康保険
- 01_【資料 No.1】 検討会（第2回）の進め方_国民健康保険
- 02_【資料 No.2】 国民健康保険システム標準化_標準仕様書公開に向けた対応について
- 03_【資料 No.3】 標準仕様書（案）別紙
- 04_【資料 No.4】 検討・課題事項一覧
- 05_【資料 No.5】 今後の予定について

【ご意見概要】

<次第2. について>

- 一同異議なし。

<次第3. ～6. について>

- 資料 No.2 の9 ページ表中のとおり実装必須機能、実装オプション機能および実装不可機能の数を整理している。介護、障害福祉および税等、複数他業務の状況と比較したが、国保の実装オプション機能の割合が高いということはない認識である。
- 資料 No.2 の12 ページ表中における高額療養費貸付の取扱いについて、実装不可となった場合、当該事務を実施している市町村はどのように対応することが求められるのか。
 - 高額療養費貸付に関する機能を実装不可機能とする場合は、システムで当該事務を管理しないという整理となるため、市町村における Excel 等を活用した台帳管理を想定している。
 - いま回答いただいたことが前提にあることを踏まえたうえで全国意見照会を実施していただくと、実施している自治体においてもしっかりと検討を行っていただけたらと思うので、事務

局においてご検討いただきたい。

→ 承知した。

- 資料 No.4 の退職者医療制度の件について、問題となるのは標準準拠システムを導入するとされている令和 7 年度以降に該当者が何人存在する可能性があるのかというところだと思っている。そのため、この 54 名の年齢を把握したうえで、そもそも令和 7 年度に該当者が存在するのかわかをご確認いただきたい。
 - ご意見のとおりに進めさせていただく。
なお、本日の資料への反映が間に合っていないが、令和 7 年度時点でも数名が残存することが分かっている。年齢別の人数が把握できるのかどうかについては引き続き厚生労働省と相談のうえ進めていきたい。
 - 詳細については引き続き確認させていただく。
- 機能要件を中心に議論をしてきた中で、共通部分や資格に係る部分など大きな枠の切り方が議論されていない。例えば、共通機能でいうところの連携機能は市町村システム連携機能と中間サーバー連携機能の 2 つだと記載があり、その詳細は別紙 2 の別添 1・2 を参照とされているが、実際に別添を見ると市町村システム連携以外にも情報集約システムとの連携や次期国保総合システムとの連携などといった関係各所との連携の要件が入っている。資料との整合性がとれていないように感じるのでこの辺りどのように考えたら良いかご教示いただきたい。
 - 標準化対象のイメージとしては資料 No.2 の 7 ページの図に示すとおりだが、市町村として事務上必要となってくる機関との連携などについての全体的な方針の説明及び機能要件の説明が不足していると理解したので、この辺りが分かるように標準仕様書（案）としては見直してまいる。
 - この 7 ページの図の青枠の中にシステム共通とあるが、先ほどの別紙 2 別添を見ると、この部分から都道府県や国保連合会に線が伸びていないと説明と合っていないと感じるので、ここを整理することが必要だと考える。
- その他異議なし。

<次第 7. について>

- 今後予定されている会議については何回開催することを想定しているか。業務ワーキングチームごとなのか、先日の合同ワーキングチームと同じ形式なのか、現段階で決まっていればご教示いただきたい。
 - あくまでも予定だが、スケジュールに記載のとおり 6 月中に事務局において全国からのご意見を整理し、皆様にご議論いただきたい事項の洗い出しを行うことを考えている。その整理内容をもとに 7 月上～中旬に一度合同ワーキングチームを開催させていただきたい。
また、このワーキングチームでのご議論を踏まえ、事務局において 8 月末公開の標準仕様書（案）を作り上げたうえで、最終確認としてあらためて机上か Web 会議にて合同ワーキン

グチームを開催し、その後、第3回検討会を開催させていただきたい（ワーキングチームは2回、検討会は1回を想定している）。

- 意見照会の結果についての整理は今申し上げたとおりだが、もし可能であれば大体何件ぐらいだったのかなど含め概要とそれを踏まえた会議開催予定を6月中頃に構成員へご連絡いただけると良いかと思う。
- できる限り早くご案内できるように対応させていただきたい。

以上